

平成29年3月 浜田市議会定例会

平成29年度

当初予算説明資料



山陰道浜田・三隅道路(平成28年12月18日全線開通)

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田
～ 豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にするまち ～

浜 田 市

平成29年度当初予算の編成概要及び編成方針

編成概要

■国において「人口減少・超高齢化」への対応が課題となるなか、本市においても、厳しい経済状況にある上、少子高齢化等の進展により社会保障関係経費が引き続き高い水準で推移しております。

■こうしたなか、平成29年度地方財政計画では、地方税が増収となるなかで、地方の一般財源総額は平成28年度を上回る水準が確保されたものの、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税総額は1千億円の減（△0.6%）となったところです。

■このような状況を踏まえ、本市においても、平成29年度の当初予算の編成では、引き続き『集中と選択』をテーマとし、「中期財政計画」に沿って予算編成に努めてまいりました。

■予算編成に当たっては、裁量経費において行財政改革実施計画の効果額を含めて施策別予算配当（前年度比平均2.5%削減）を実施した上で、「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田」を実現するため、総合振興計画や総合戦略に基づく主要事業の実行を図るための予算を確保するなど、メリハリの効いた予算の実現に努めたところです。

■加えて、介護保険制度の見直しによる介護予防・日常生活支援に対する新たな対応や、保育所の定員増に対する支援により福祉の充実を図るほかに、子育て支援センターの改築、旧浜田警察署取得による分庁舎整備といった投資事業にも新たにに取り組んでまいります。

■一方で、財政運営の健全化のため、約10億円の地方債の繰上償還を実施します。

■このような取り組みの結果、平成29年度の一般会計予算総額は386億5,931万3千円となり、前年度と比較して、金額で7億8,831万3千円の増、率にして2.1%の増となりました。

■今後の財政運営に当たっては、国による地方創生の取り組みが進むなか、総合振興計画や総合戦略の着実な推進を図ってまいります。一方で、持続可能な財政運営に向けて、行財政改革実施計画を着実に推進し、財政健全化も心掛けてまいります。

平成29年度 当初予算編成方針

基本的考え方

- 平成29年度予算編成については、少子高齢化と人口減少の進行、厳しい経済状況に適切に対応し、「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田」を実現するため、総合振興計画や総合戦略を念頭に置きつつ、中期財政計画に沿った予算編成を行う。
- 施政方針と連動しつつ、確実な財源確保に資するため経常事業において施策別予算配当を実施する。これにより、歳出の徹底した見直しを行うとともに、裁量経費の重点化によって財源の捻出を図る。
- 平成28年度から市町村合併による国の財政支援措置の縮減が始まっており、中期財政計画においても今後収支の悪化が推計されるなか、行財政改革実施計画の着実な実行はもとより、一層の「予算の集中と選択」を引き続きお願いする。
- 予算配当等の取りまとめについて、裁量経費は部単位で、自治区経費は支所単位で行うので、各部主管課は、当方針の趣旨を十分理解し、各課、本庁支所間等の調整にあたって、特段の努力をお願いする。

平成28年10月3日

財務部長

◆事業別要求区分及び要求の取扱い

区		分	要 求	備 考	
経 常 事 業	1 裁量	2～4以外の経費	施策別予算 配当 別途通知による	☆「施策別予算配当」 予算科目の目ごとに予算枠を示し、施 政方針の実現に向け、施策別に必要な 予算配分を行うもの	
	2 義務	人件費、公債費、負担 金、積立金、繰出金、 債務負担行為に係る 経費、国県負担金事業 等	所要額	対象事業は「予算要求区分別事業一 覧」を参考のこと	
臨 時 事 業	3 政策	ソフト	枠明示 分野指定	○ <u>元気な浜田枠</u> <u>250 百万円以内</u> （市費：地方債＋ 一般財源）とする <u>重点分野</u> ・7つのまちづくりの大綱のなか で、特に重点的に取り組む項目 や、その他の市政運営に係る重 要な事項で、ロードマップに行 程を掲げる事業 ○その他 ・イベント、計画策定	
		ハード	所要額	○対象事業は、サマーレビュー査定に よること ○災害復旧費を含めること	
	4 自治区	ソフト	地域振興基金を活用 した自治区事業	所要額	○地域振興基金運用方針に基づき要 求すること
		ハード	自治区枠（経過措置 分）	予算配当	☆「自治区枠（経過措置分）」 平成28年度末までに未消化となった自 治区枠の残額を活用して実施するもの ○自治区ごとの予算配当は「投資的経 費予算配当」によること ○対象事業は、サマーレビュー査定に よること

◆予算要求に当たっての留意事項

- ① 当初予算要求書は、主管課を通じて必要書類とともに4部提出のこと
- ② 当初予算要求書は財務会計システムにより作成することとなるので、操作方法等の理解に努めること
- ③ 社会保障費や附属機関に要する経費等の同一の法令等に基づいて実施する事業については、必ず本庁担当課で取りまとめのうえ予算要求を行うこと
- ④ 上記以外の事業についても、同一の目的で同一の手法により実施する事業は、原則として本庁担当課で予算要求を行うこと
- ⑤ 市全体で実施する経費については、十分調整・精査はされていると考えるが、再度、主管課及び本庁・支所の担当課において、共通ベースとなる部分の調整・精査を徹底したうえで要求すること（一体的なまちづくりに反しない範囲において、地域の個性、特色を活かすまちづくりのための共通ベース部分を上回る経費については、地域振興基金の活用等を検討すること）
- ⑥ 裁量経費の施策別予算配当額については、別途通知するのでそれにより確認すること（なお、予算配当額は、行財政改革効果額及びサマーレビューでの調整を踏まえて設定しており、変更は認めない）
- ⑦ 裁量経費において、施策別予算配当額を遵守し要求されたものについては、基本的に要求内容を尊重する（著しい後年度負担を要するもの等、財政的見地から問題があるものは除く）
- ⑧ 裁量経費の施策別予算配当額は、財政課査定により削減された場合でも、各部の配当額は担保する
- ⑨ 臨時交付金、地域協力金（三隅自治区分を除く）及びふるさと寄附の充当については、臨時的な措置であり、その規模も大きいことから⑧の例外として取り扱い、要求時点での充当は見込まないよう注意すること
- ⑩ 裁量経費において、施策別予算配当額を踏まえたうえでの若干の配当額の施策間の調整は可能とする

- ⑪ 義務経費は、人件費の一部（職員給与費、議員報酬等、行政委員報酬等、退職手当）、返還金、公債費、国県負担金事業、負担金、積立金、繰出金、債務負担、リース契約、国県等補助事業で単価設定のあるものに限定しており、市独自事業や国県等補助事業で限度額設定のみのものは裁量経費とする
- ⑫ 政策経費（ソフト分）については、「元気な浜田枠」分として総額2億5千万円の範囲内で、ロードマップに掲げる事業に重点的に予算配当する
- ⑬ 政策経費（ハード分）については、サマーレビューの査定結果に基づき、
予算要求を行うこと
- ⑭ 自治区経費（ソフト分）については、地域振興基金運用方針に基づき、
予算要求を行うこと
- ⑮ 自治区経費（ハード分）の予算配当額については、別途通知するのでそれにより確認すること
- ⑯ 新規事業については、経費の性格を事業別要求区分に照らしたうえで区分を決定し要求すること
- ⑰ ⑯の決定に当たっては、財政課と十分に事前の調整を行うこと
- ⑱ 事業別要求区分については、サマーレビューで調整済であり、既存事業の予算要求段階での区分変更は認めない
- ⑲ 地域振興基金運用方針は次のとおりであり、充当事業についてはこの方針に沿って要求を行うこと
- ・ ソフト事業のみならずハード事業の財源としても活用できる
 - ・ 経過措置分以外の事業は、新たに事業構築（平成28年度開始した事業を除く）したうえで要求すること
- ⑳ 予算ヒアリングの日程は、各部単位で調整しているが、ヒアリングは原則として「課」単位で行うため、部内のヒアリング順については主管課で調整のうえ、必ず主管課が同席すること
- ㉑ 上記③④の同一の事業について、予算ヒアリングを本庁・支所別々に実

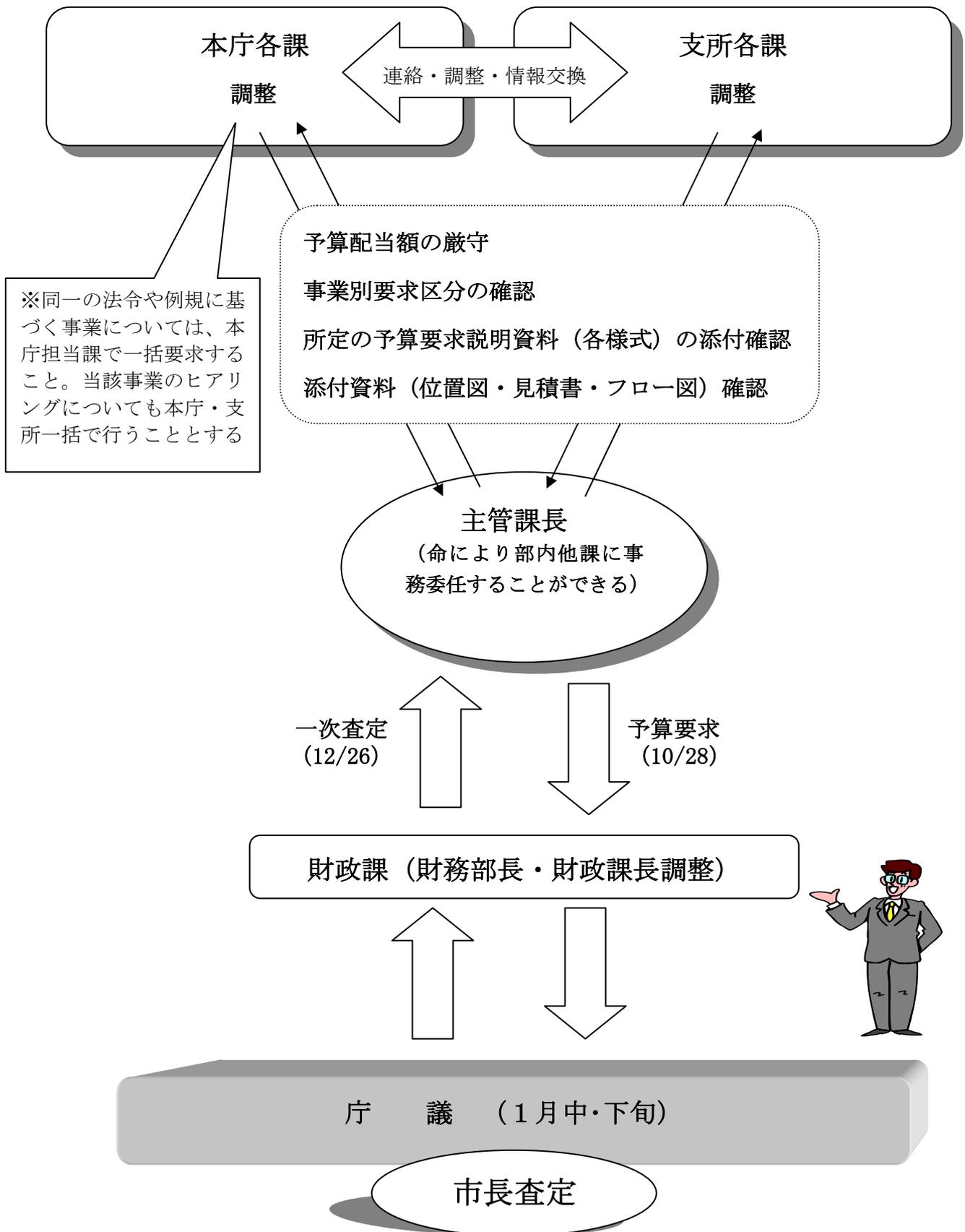
施すことがあってはならないので、十分留意すること

- ②財政サイドのヒアリング出席者は、財務部長、財政課長、係長、予算担当者を予定している
- ③財務会計システムによる予算要求書に加えて、所定の予算要求付属資料（債務負担行為事業明細書、投資的経費説明資料、地域振興基金充当要求書等）がある場合は、必ず提出すること
- ④予算要求付属資料「様式12 地域振興基金充当要求書」は、必ず防災自治課の確認を得たうえで、主管課より提出すること
- ⑤嘱託・臨時職員の要求については、必ず人事課と事前協議のうえ要求し、要求書においては積算基礎欄の数式機能を利用し算出根拠を明らかにすること（人数、月数等）
- ⑥上記③④⑤の他、ハード事業については位置図、平面図、見積書等、ソフト事業についてはフロー図等を添付し、ヒアリングの際にはそれを用いて分かりやすい説明に努めること
- ⑦事業予算の分離、統合が必要な場合は、当該事業を担当する本庁・支所間で十分なすり合わせを行い、主管課を通じて予算の整合を図ること
- ⑧監査委員による指摘や市議会予算決算委員会での議論を十分踏まえたうえで要求を行うこと
- ⑨事業予算は目的別に編成するものであり、事業の一部を他部課で実施する場合においても当該事業内で予算化し、他部課へは予算の配当替により対応すること

◆予算編成日程（予定）

- 10月 3日（月） 予算編成方針説明会
（10時00分～：本庁講堂ABC）
- 10月28日（金） 要求書提出期限（4部提出）
15：00まで（締切厳守）
- 11月 1日（火）～ 財政ヒアリング(査定)・・・ヒアリング日程表参照
- 12月26日（月） 一次査定内示（予定）
- 12月27日（火） 復活要求書（様式10）提出期限（締切厳守）
- 1月 6日（金） 市長ヒアリング要求書（様式9）提出期限
15：00まで（締切厳守）
- 1月 中・下旬 庁議ヒアリング・市長査定(当初予算決定)

◆予算要求・決定の流れ



予算要求と査定結果

(単位:百万円)

平成29年度当初予算		議会	総務部	地域政策部	財務部	健康福祉部	市民生活部	産業経済部	都市建設部	消防本部	教育委員会	上下水道部	合計
		事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費
裁量	要求	25	637	321	80	1,155	566	814	558	148	1,195	0	5,499
	査定	25	630	321	75	1,150	566	808	555	148	1,193	0	5,470
	差引	0	△ 7	0	△ 5	△ 5	0	△ 6	△ 3	0	△ 2	0	△ 29
義務	要求	173	5,590	213	6,460	7,538	3,152	1,470	90	64	444	1,455	26,649
	査定	173	5,589	213	6,460	7,538	3,052	1,469	90	64	443	1,427	26,519
	差引	0	△ 1	0	0	0	△ 100	△ 1	0	0	△ 1	△ 28	△ 130
政策ソフト	要求	0	83	75	0	18	7	253	94	3	37	0	571
	査定	0	83	75	0	17	2	244	60	3	36	0	521
	差引	0	0	0	0	△ 1	△ 5	△ 9	△ 34	0	△ 1	0	△ 50
政策ハード	要求	0	605	0	0	108	197	2,677	1,301	199	284	53	5,423
	査定	0	428	0	0	108	197	2,668	1,297	199	279	53	5,228
	差引	0	△ 177	0	0	0	0	△ 9	△ 4	0	△ 5	0	△ 195
自治区ソフト	要求	0	0	62	0	2	2	82	0	0	2	0	150
	査定	0	0	62	0	2	2	82	0	0	2	0	150
	差引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自治区ハード	要求	0	27	56	0	0	0	84	563	0	41	0	770
	査定	0	27	56	0	0	0	84	563	0	41	0	770
	差引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	要求	198	6,942	727	6,539	8,821	3,925	5,380	2,606	414	2,003	1,508	39,063
	査定	197	6,757	727	6,535	8,815	3,820	5,355	2,565	414	1,994	1,480	38,659
	差引	△ 1	△ 185	0	△ 4	△ 6	△ 105	△ 25	△ 41	0	△ 9	△ 28	△ 404

※上記の金額は、四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
4 政策企画課・ 三隅支所防災 自治課	<p>はまだ暮らし応援事業</p> <p>【事業概要】 UIターン者の増加を目指し、都市部からインターンシップによる受け入れや、浜田市に定着するための支援を行う</p> <p>【主な要求内容】 ○嘱託職員(空き家バンク担当) 1人 2,187千円 ○介護人材確保のためのシングルペアレント受け入れ事業 18,470千円 ○浜田deしごとインターンシップ実施委託料 4,228千円 ○UIターン包括支援組織設立補助金 500千円 ○はまだ暮らし住まい応援事業 7,950千円 空き家片付け補助 補助率2/3 上限 5万円 空き家改修補助 補助率2/3 上限 50万円 多世代同居改修補助 住宅リフォーム助成に10万円上乗せ ○三隅自治区空き家改修事業 10,500千円 三隅自治区内の空き家について三隅火力発電所2号機建設に係る作業員宿舎として活用するため、「はまだ暮らし住まい応援事業」に補助額を上乗せする 空き家片付け補助 補助率2/3 上限 5万円 (「はまだ暮らし住まい応援事業」と併せて、上限10万円) 空き家改修補助 補助率2/3 上限100万円 (「はまだ暮らし住まい応援事業」と併せて、上限150万円)</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 8,460 地方債: 0 その他: 10,500</p>	44,135	44,135	<p>要求どおり</p> <p>新規の「三隅自治区空き家改修事業」について、当市への定住、人口減少の抑制を目的とする「浜田市空き家バンク活用促進事業補助金交付要綱」に補助額を上乗せするものであり、特に三隅火力発電所2号機建設の作業員宿舎、建設後の定期点検作業員宿舎としての活用が期待されるため予算化。</p>
5 地域プロジェクト 推進室	<p>瀬戸ヶ島埋立地活用事業</p> <p>【事業概要】 瀬戸ヶ島埋立地本来の開発目的である「つくり、育てる漁業」の関連産業の立地を目指すため、中核となる新たな民間水産加工事業体の形成を支援し、浜田市の水産業活性化を図る</p> <p>【主な要求内容】 ○講演会開催経費 300千円 ○事業参画希望者による研究会開催経費 234千円 ○先進地視察等 929千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0</p>	1,463	1,463	<p>要求どおり</p> <p>水産業活性化を図る目的で、畜養魚を加工し海外へ輸出する新たな水産加工業を展開するための実施主体形成に資するものと判断し予算化。</p>
6 医療保険課	<p>国民健康保険事業特別会計繰出金</p> <p>【事業概要】 国民健康保険(事業勘定・直診勘定)の運営に伴う一般会計繰出金</p> <p>【主な要求内容】 ○国民健康保険特別会計繰出金 860,372千円 保険基盤安定制度、出産育児一時金、財政安定化支援事業、国民健康保険事務費、人件費、県単福祉事業カット分、ウイルス性肝炎進行防止対策事業(他保険者分)等に係る繰出金 ※国民健康保険料上昇抑制繰出金 200,000千円を含む</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 243,338 地方債: 0 その他: 338</p>	860,372	760,372	<p>事業費精査</p> <p>国民健康保険料の大幅な引き上げを抑制するため、不足する2億円の財源をどうするのかを判断。料率の大幅な引き上げを抑制する必要性に対して一定程度理解するが、国民健康保険財政調整基金に残高があるにもかかわらず、全額一般会計から拠出するのは問題があると考え、国民健康保険財政調整基金から1億円、一般会計から1億円の折半とすることに決定。なお、一般会計から国民健康保険事業特別会計への拠出は、当面は平成29年度までとし、貸し付けということで整理。</p>

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
10 環境課	動物愛護推進事業 【事業概要】 住民と動物が共生できるまちづくりを目指し、動物愛護イベント等を開催するとともに、猫に対する不妊去勢手術を助成して野良猫の増加を抑制する 【主な要求内容】 ○動物愛護イベント開催経費 303千円 ○猫の不妊去勢手術助成金 500千円 1件あたり上限5,000円補助 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 733	903	733	事業費精査 住民と動物がトラブルなく共生できるまちづくりを目指し、動物愛護イベント等の開催、猫に対する不妊去勢手術の助成を行う新規事業であり、問題となっている野良猫の増加、不幸な命の誕生の抑制は期待できる。ただし、イベント経費については縮減が可能と判断し減額。
11 環境課	生ごみ減量化推進事業 【事業概要】 生ごみの水分を圧搾できる器具を全戸に配布して、市民にごみ収集前の生ごみの水分量カットを促し、エコクリーンセンサーの燃焼効率を上げ、施設運営の省エネを図る 【主な要求内容】 ○水分圧搾機購入費 4,666千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 4,666	4,666	0	予算化見送り 事業目的の生ごみ(台所ごみ)の水分を減らし、燃やせるごみの排出量を削減すること、ごみ処理施設を効率的かつ効果的に使用し環境への負荷低減に取り組むことは重要であると考え、生ごみ水切り器を全世帯に配布することが、先の目的の手段として適切かどうか検討が必要。検討に時間が必要であるため、当初予算への計上は見送り。
12 農林振興課	畜産収益力強化対策事業 【事業概要】 畜産クラスター計画に位置付けられた経営体に対し、収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な施設整備に要する経費を補助する 【主な要求内容】 ○畜産収益力強化対策事業補助金 1,378,399千円 補助対象: 畜産クラスター協議会 【特定財源】 国県支出金: 1,378,399 地方債: 0 その他: 0	1,378,399	1,378,399	要求どおり 畜産クラスター計画に位置付けられた経営体に対し、収益性の向上等を図る目的の施設整備に対する助成。事業のスケジュール、内容を確認し予算化。
13 農林振興課	浜田産広葉樹活用推進事業 【事業概要】 企業版ふるさと納税を活用し、地域おこし協力隊を雇用し、公益財団法人島根県西部山村振興財団が行う、材料調達から製品製造を浜田市内で完結させる「地産地製」の取り組みを支援する 【主な要求内容】 ○地域おこし協力隊 1人 3,020千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 2,200	3,020	3,020	要求どおり 企業版ふるさと納税を活用し、材料調達から製品製造を市内で完結させる「地産地製」を実現するため、公益財団法人島根県西部山村振興財団が行う加工職人雇用を支援するものであり、「木工」という新たな産業の育成と「地産地製」の循環型林業の実践に資すると判断し予算化。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
14 水産振興課	<p>「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業</p> <p>【事業概要】 「山陰浜田港」をPRするため、「浜田港四季のお魚」や「どんちっち」ブランドを通じ、浜田漁港で水揚げされる漁獲物の認知度を高め、浜田産魚の消費拡大を図る</p> <p>【主な要求内容】 ○「山陰浜田港」PR補助金 3,879千円 ○「アジサミット」補助金 3,000千円 ○お魚料理教室補助金 300千円 ○水産ブランド推進事業補助金 1,500千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0</p>	9,110	7,043	<p>事業費精査</p> <p>アジサミット補助金について、平成29年度中のサミット開催を見込んだものであるが、関係団体間の調整、サミットの内容等の深化が必要と判断し、当初予算ではサミット開催に向けての調整経費を計上。</p>
15 水産振興課漁港活性化室	<p>高度衛生管理型荷捌所整備事業</p> <p>【事業概要】 所在地: 原井町 浜田漁港に高度衛生管理型荷捌所を整備し、生産・流通機能の強化及び水産物の衛生管理の高度化に取り組み、産地競争力の強化を図る</p> <p>【事業期間】 H28～H32</p> <p>【主な要求内容】 ○7号荷捌所建築工事 ○4号荷捌所基本設計</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 578,000 地方債: 290,100 その他: 0</p>	868,352	868,352	<p>要求どおり</p> <p>浜田漁港の衛生管理の高度化に取り組むことで、安全で良質な水産物の流通による魚価の向上、外来船による水揚げ量増加につながり、水産業の活性化が期待できる。事業費増大の懸念もあるため、事業費、事業内容、スケジュール等を確認。内容を精査し、起債対象外経費の一般財源での対応等、財源を変更。</p>
16 水産振興課漁港活性化室	<p>冷凍冷蔵庫整備支援事業</p> <p>【事業概要】 冷凍冷蔵庫の整備を行う企業に対する支援を行い、地元船の漁獲量の増加及び外来まき網漁船の誘致や水産物供給体制の充実を図る</p> <p>【主な要求内容】 ○冷凍冷蔵庫整備支援事業補助金 25,000千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0</p>	25,000	25,000	<p>要求どおり</p> <p>浜田漁港の水揚げ高を増やすため、冷凍冷蔵庫の整備を行う企業に支援を行い、地元船の漁獲量増加、外来まき網漁船の誘致、水産物供給体制の充実を図る新規事業。水産加工業をはじめとする水産業の活性化が期待できるとして予算化。</p>
17 三隅支所防災自治課	<p>三隅自治区産業再生事業</p> <p>【事業概要】 三隅自治区内の地元産業の活性化を図ることを目的とし、経営革新等の新たな取り組みを行う中小企業者等に対して、その費用の一部を助成する(三隅)</p> <p>○期間: H24～H29 ○補助対象事業 石中央商工会経営革新計画等作成支援事業 石中央商工会経営指導支援事業 中小企業者施設整備等支援事業 補助率: 4/5、限度額: 8,000千円 中小企業者利子補給事業 補助率: 4/5</p> <p>【主な要求内容】 ○三隅自治区産業再生事業補助金 8,000千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 8,000</p>	8,000	8,000	<p>要求どおり</p> <p>平成28年度までの事業であったが、三隅益田道路の土地収用に該当する事業者があり、移転先選定の関係で年度内事業完了が困難となったため、平成29年度に事業を延長するもの。事業内容を勘案し予算化。(平成28年度予算は3月補正で減額)</p>

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
18 産業政策課	活力あるもの・ひとづくり支援事業 【事業概要】 市内の意欲ある中小企業者が行う経営の安定化に向けた事業活動に対する助成を行い、事業の拡大・雇用の促進を図る 【主な要求内容】 ○活力あるもの・ひとづくり支援事業補助金 9,000千円 補助率：1/2 補助対象事業：商品研究開発事業 特許権等取得事業 HACCP導入支援事業 販路開拓事業 職場環境整備事業 人材育成支援事業 プロジェクト連携支援事業 ○ブランディング実践セミナー 323千円 ○クラウドファンディングセミナー 377千円 【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0	9,700	9,700	要求どおり 中小企業イノベーション支援事業を引き継ぐ新規事業。意欲ある中小企業者の経営安定化に向けた事業活動に対する助成を行い、事業者の競争力強化を図るものであり、事業の拡大・雇用の促進が期待できると判断し予算化。
19 観光交流課	「ようこそ！浜田」事業 【事業概要】 「ようこそ！浜田」のキャッチフレーズのもと、「お宝観光資源」を活用した「観光おすすめコース」の充実を図るとともに、ボランティアガイドの育成・充実のための勉強会などに取り組み、地域の魅力発信を行う 【主な要求内容】 ○観光ツアー商品造成 1,000千円 ○レンタサイクル実証事業補助金 500千円 ○ボランティアガイド育成勉強会 212千円 ○大名行列拡充事業補助金 5,000千円 ○浜田PR大使及び浜田応援団活動経費 573千円 ○地域伝統芸能全国大会負担金 3,000千円 開催日：11月5日 会場：石央文化ホール（メイン会場 出雲市民会館） ○瑞風運行おもてなし事業補助金 500千円 ○北前船寄港地フォーラム等視察 999千円 【特定財源】 国県支出金：0 地方債：0 その他：0	15,032	14,333	事業費精査 新規の「瑞風運行おもてなし事業補助金」について、平成29年6月運行開始予定の「トワイライトエクスプレス瑞風」を契機とした沿線地域のおもてなし事業に対する助成であるが、おもてなし内容を各団体にお任せでなく、市が何をするか方向性を示し、地域に協力を仰ぐ仕組みで再検討することに決定。 補助金ではなく、予算額を減額し事務費として計上。 新規の「北前船先進地フォーラム等視察」について、経費過大と判断し、減額。
20 産業振興課	ユネスコ和紙ブランド推進連携事業 【事業概要】 4市町村が連携して、ユネスコの知名度を生かして和紙ブランドを確立し、和紙の消費喚起と需要拡大を図る 【主な要求内容】 ○和紙サミット事業（埼玉県小川町） 1,244千円 ○ユネスコ和紙展開催事業 250千円 ○国内テストマーケティング事業 1,341千円 ○新商品開発・多用途化研究事業 889千円 【特定財源】 国県支出金：1,862 地方債：0 その他：0	3,724	3,724	要求どおり 地方創生推進交付金を活用し、手漉和紙産地が連携して、ユネスコの知名度を生かした和紙ブランドを確立させ、和紙の消費喚起と需要拡大に取り組むものであり、後継者の育成、原材料の生産拡大など地域の雇用促進、地場産業活性化が期待できるものとし予算化。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
21 維持管理課・ 各支所産業建 設課	除雪事業 【事業概要】 積雪時における交通路の確保を図るとともに、住民生活の安定に寄与することを目的とする除雪作業 【主な要求内容】 ○除雪車等維持修繕費 14,479千円 ○除雪作業委託料 74,801千円 ○除雪車借上料 800千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 4,187	94,395	60,000	事業費精査 事業費の算出について、過去3年間の決算平均から過去5年間のうち決算額の多い3年間の平均へ算出方式を変更する要求内容。 除雪の実施に影響が出ないことを前提として、予算を定額化。
22 金城支所産業 建設課、旭支 所産業建設 課、弥栄支所 産業建設課	除雪車等整備事業 【事業概要】 除雪車を新たに購入して迅速に除雪対応できる機動力を確保するとともに、市有地に格納庫を整備して、車両の劣化軽減を図る(社会資本整備総合交付金事業) 【主な要求内容】 ○除雪車格納庫整備本体工事(旭) 一式 ○除雪車購入(金城、弥栄) 4台 38,000千円 【特定財源】 国県支出金: 42,000 地方債: 14,900 その他: 7,362	64,310	64,310	要求どおり 要求内容は除雪車の新規購入、車両の劣化軽減を図るための車両格納庫整備。 迅速に除雪対応できる機動力の確保、自治区事業の優先確保の観点から要求どおり予算化。 除雪車の保有台数増による維持管理コストの増大への対応が今後の課題。
23 生涯学習課	ふるさと郷育推進事業 【事業概要】 体験活動、行事への参加・参画、文化伝承を通して、子どもと地域の繋がりをつくる「ふるさと郷育」を推進する 【主な要求内容】 ○「浜田市の人物読本 ふるさと50人」の活用事業 60千円 読み聞かせ等、授業での活用(継続) ○ふるさと再発見事業 2,800千円 ふるさと再発見事業(継続) ふるさと地域学習事業(継続) 成人対象のふるさと地域学習会開催 ○つなぐ、つながる事業 640千円 三世代交流事業(継続) 通学合宿事業(継続) ○ふるさと教育推進事業 5,190千円 小中学校授業連携委託(継続) 自然体験活動推進事業(継続) 自然体験授業を委託 幼稚園: 10万円/園(単価見直し 5万円→10万円) 小学校: 20万円(小規模校 15万円)/校 ○ネットワーク会議の運営 450千円 9中学校区ネットワーク会議の運営事務、研修費等 (継続) ○Hamada マリン郷育プロジェクト(継続) 1,000千円 日本財団の助成を受けて実施する海での自然体験事業 ○「(仮称)浜田の歴史」作成事業(新規) 2,164千円 【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 3,580	12,304	12,304	要求どおり 新規の「(仮称)浜田の歴史」作成事業について、平成29年度～平成30年度までの2カ年事業で、平成29年度は本作成の準備経費。 歴史を通して、「浜田市が好き」、「将来は浜田市で働きたい」、「市外からも浜田市を支援したい」という子どもを増やし、「元気の浜田」の実現を目指す。 本原稿は基本職員が執筆する内容で、体制について若干の懸念があるが、ふるさと郷育の必要性を認め予算化。

○主要施策の予算要求と査定状況

(単位:千円)

番号 部局名	事業名 予算要求の概要	要求 事業費	査定 事業費	査定概要
24 生涯学習課	<p>親の学び推進事業</p> <p>【事業概要】 0歳～15歳の子どもを養育する保護者を対象に、家庭教育に関する支援を実施し保護者の成長を促すとともに、学校等との連携調整を円滑にするため、学校教育支援員を配置する</p> <p>【主な要求内容】 ○講演会開催経費 253千円 ○学校教育支援員 1人 406千円</p> <p>【特定財源】 国県支出金: 0 地方債: 0 その他: 0</p>	659	0	<p>予算化見送り</p> <p>家庭教育を総合的に支援する仕組みを年度前半で検討し、子を育てる親の意識改革に重点を置いた本市オリジナルの取組みを構築するもの。プログラムの内容、実施体制等ブラッシュアップ、調整が必要であり、当初予算への計上は見送り。</p>